



福岡大学

次世代をリードする人材として「国際性」と「対人力」を磨く

ダイバーシティを体感するキャンパス環境

九州最多の2万人を超える学生が広大なキャンパスに集う福岡大学。卒業生は約25万人を数え、国内でも海外でも「福大人脈」を形成する私学の雄である。創立時から海外を意識し、特に近年では海外留学・研修や海外インターンシップなど、多彩なプログラムを実施してグローバル人材育成を推進している。新たな奨学金制度も導入され、学びの環境はますます拡充されている。

街を歩いていて最近、外国人の人が増えた。テレビを観ていると海外を舞台にした番組がよくある。と感じたことはないだろうか。グローバル化が進む中で、日本で働く外国人は年々増加している。コンビニや飲食店、企業や各種機関でも、生活の中で外国人が働く姿を目にする機会が、今後ますます増えていくだろう。自分が働く職場の半数以上が外国人、といったことも珍しくなくなるかもしれない。

海外で活躍する日本人も増える一方だ。海外から日本へ、日本から海外へ、という人の動きは加速しつつある。しかも、現代は高度情報化社会。インターネットを通じ、瞬時に情報が世界を駆け巡る世の中だ。現代の学生たちは大学卒業後、こうしたライフスタイルに適応していかなくてはならない。

そうした状況でのキーワードは、「ダイバーシティ(多様性)」。国籍や人種、文化や価値観といった違いを超えて、相手を受け入れようという考えである。

福岡大学は、2016年度以降の新生を対象とした新たな奨学金制度を設立した。七隈の杜 給付奨学金と七隈の杜 第三子以降特別給付奨学金の2種類で、どちらも返済が不要な給付型である。入学前の時点で入学後の奨学金給付が約束される。入学前予約型である点が大きな特徴だ。

七隈の杜 給付奨学金の給付額は、文系(商二部除く)30万円、商二部15万円、理系50万円。さらに、成績優秀者には特別増額奨学金として最大で初年度納入金委託徴収金を除く相当額を支給する。採用候補者は約2千人。

七隈の杜 第三子以降特別給付奨学金は、第三子以降の学生に給付する奨学金。第三子以降の支援は国の政策としても取り上げられており、第三子以降の割合が高い九州地区では、特に需要が大きいと見られる。給付額は30万円、採用候補者数は約1千人。

CLOSE UP / 全国最大規模の新奨学金がスタート!

「国際性」を養成するさまざまな取り組みの中でも注目されるのが、全学部対象の教育プログラム「グローバルアカデミー」だ。海外研修を通じて異文化と触れ合うアジア現地研修や「グローバル・イングリッシュ」など、特色あるプログラムが数多く組み込まれている。GAP履修生の1年後のプレイメント・テストTOEIC®換算値では、平均で100点上昇するという成果も生まれている。ワークショップなどを通じて、単に英語を話すのではなく、英語で何を話そうかという自身の学習に重点を置いた実践的な「GAP講座」も特徴的だ。

学生の海外派遣にも積極的に取り組んでおり、短期研修や交換留学などを含めた海外派遣数は約500人に達している。一方、外国人留学生も、イギリス、フランス、アメリカ、中国、韓国などから300人以上を受け入れている。高校時代までは外国人と話す機会がほとんどないだろうが、福岡大学ではネイティブの教員から英語の授業を受けられるほか、「国際交流会館」で外国人留学生と一緒に住み、交流する機会まである。互いの恋愛事情を作り合ったり、国別の恋愛事情についての話を話したりする。

海外インターンシップへの取り組みも本格化させている。昨年度はGAPで6人の学生がオーストラリアに派遣されたほか、「就職・進路支援センター」でもベトナムやシンガポールの日系企業に派遣を実施。15年度は最大60人超を派遣する方針だ。

「福岡方式」と呼ばれる、国連マクリーン開発メカニズムに認定された廃棄物処理地の改善方法がある。これは福岡大学工学部水産衛生学実験室の松藤教授らが研究し、世界各国で導入されている技術だ。この世界的技術を学ぶために、毎年、国際協力機構(JICA)のグローバル研修として、約50カ国から約100人の学生や若手研究者が福岡大学を訪れている。

こうした刺激ある教育環境の中で、福岡大学の学生たちは、国際的な視野と活動力を持ったグローバル人材へと成長を遂げていく。

在学生から 海外研修や海外インターンシップの体験が私を変えてくれた

2年次にアメリカのウオッシュバン大学へ1カ月の研修に参加。語学力向上が動機でした。英語の授業では文法や英文学を勉強し、物理科学科に所属していたので物理学の授業も聴講。そこでは、「この理論の説明を英語ではどのように言うのか」と、実践的な英語表現に目から鱗でした。夜は大学の寮にアメリカ人ルームメイトと宿泊。ドライブや観光も満喫。英語漬けの毎日が当たり前になり、当初は単語でのやり取りだったのが徐々に「英会話」になっていくのを感じました。

この研修が自信になり3年次には海外インターンシップに挑戦。大手電機メーカーのベトナム支社で現地の方と働きました。そこで感じたのは、「働く」ことへの意識の違い。国や人によってこれまでに価値観が多様なのかと肌で感じました。福岡大学には、新しい世界や知らなかった視点に気付かせてくれる機会がたくさん用意されています。ぜひ福大生になってこれらの機会を活用してください。

理学部 物理科学科 4年 山本 彩由佳さん

卒業生から リーダーシップや伝える力は人々との交流から培われる

ANAの機長として世界を飛び回る日々。ドイツへのフライトとなり、飛行時間約12時間、2泊4日、時差8時間となり心身がタフでなければ務まりません。パイロットに必要なのは一度に複数の課題を処理するマルチタスク能力。緊急時にはトラブルシューティングをしながら飛行機を操縦し、お客さま対応を的確に行う必要があります。そこには判断力や実行力、リーダーとして乗務員を一つにまとめる力、そして伝える力が不可欠です。

コックピットでたくさんの機器を相手にする能力は、訓練や経験で身に付きます。しかし、リーダーシップや伝える力は、出会った人々との交流や歩んできた人生などからしか養われません。福岡大学には2万人を超える学生と9学部31学科に及ぶ学問領域があります。将来を夢見る若者たちが一堂に会する福岡大学の環境は、社会に出ても味わうことが難しい程恵まれています。ぜひここで、人々との交流から得られる力を身に付けてください。

全日本空輸機 機長 山戸 文希さん 1986年 経済学部 経済学科卒



GAP講座でグローバル対応力を育成

2万人のキャンパスで育む 全国大学1位の「対人力」

2014年に日本経済新聞に掲載された新卒社員の出身大学のイメージ調査ランキングによると、福岡大学は「対人力」の項目で全国1位に輝いた。豊かなコミュニケーション力を通じて、さまざまな人と信頼関係を築ける「対人力」は、社会に最も求められている能力といえるだろう。福大生の「対人力」の高さは、どのように育まれていくのだろうか。

福岡大学は2万人を超える学生が学ぶ西日本最大規模の総合大学である。2万人がいれば、2万人の価値観があり、出会いがある。さまざまな経験や価値観を持った数多くの人と出会い、彼らから刺激を受けられることは、福岡大学で学ぶ大きなメリットといえるだろう。

しかもこの2万人が、一つの広大なキャンパスに集まっている意味は大きい。文系の学生が、医学部や薬学部の学生らとともに学ぶキャンパスは全国でもほとんどない。共通教育の授業を隣に宇宙について学んでいる学生が座るかもしれないし、建築を学ぶ学生とティスセッションをするかもしれない。環境は人を育てる。こうしたキャンパスの環境が、福大生の「対人力」を自然と高めているのは間違いない。

1934年の創立以来、福岡大学は約25万人もの卒業生を送り出してきた。その卒業生たちは今、グローバル社会の幅広い分野で活躍している。世界のどこに行っても先輩がいて、これから社会へ飛び立つ福大生を見守ってくれていることへの安心感は、きわめて大きい。



少人数クラスでのゼミで活発な議論

福岡大学(私)

〒814-0180 福岡市城南区七隈8-19-1
☎092-871-6631(代表) <http://www.fukuoka-u.ac.jp>

【創立】1934年(福岡高等商業学校として創立) 【インターンシップ参加学生】551人 九州1位(全国12位)

【学部】人文学部、法学部、経済学部、商学部、商学部第二部、理学部、工学部、医学部、薬学部、スポーツ科学部 【社長の出身大学・全企業】2,902人 九州1位(全国16位)

(いずれも「大学ランキング2016版」より)

BEST CHOICE

全学部同時開催

オープンキャンパス2015

8月8日(土)

10:00~16:00 (予約不要・入退場自由)

●人文学部 / 文化学科 / 歴史学科 / 日本語日本文学科 / 教育・臨床心理学科 / 英語学科 / ドイツ語学科 / フランス語学科 / 東アジア地域言語学科 ●法学部 / 法律学科 / 経営法学部 ●経済学部 / 経済学科 / 産業経済学科 ●商学部 / 商学科 / 経営学科 / 貿易学科 ●商学部第二部 / 商学科 ●理学部 / 応用数学科 / 物理科学科 / 化学科 / 地球科学科 ●工学部 / 機械工学科 / 電気工学科 / 電子情報工学科 / 化学システム工学科 / 社会デザイン工学科 / 建築学科 ●医学部 / 医学科 / 看護学科 ●薬学部 / 薬学科 ●スポーツ科学部 / スポーツ科学科 / 健康運動科学科

オープンキャンパスに関するお問い合わせ

■入学センター 〒814-0180 福岡市城南区七隈8-19-1
TEL 092-871-6631(代表) 福岡大学 入試情報サイト

第11回(平成27年度) 全国高校生川柳コンクール

■募集期間 平成27年 6月1日(日) - 9月20日(日) 当日有効

■テーマ 日本を元気にするメッセージをはじめとして、友情、勉強、部活動、家族、恋愛、夢、希望、社会へのメッセージなど、自由。

■表彰

福岡大学長賞(大賞) 賞状、図書カード5万円分(1作品)

全日本川柳協会賞(優秀賞) 賞状、図書カード3万円分(1作品)

西日本新聞社賞(優秀賞) 賞状、図書カード3万円分(1作品)

入賞 賞状、図書カード3千円分(50作品)

■応募方法 応募用紙を出力し、必要事項(学校名、学年、氏名[フリガナ]、自宅郵便番号、自宅住所、電話番号)を明記の上、下記宛先まで郵送にてご応募ください。応募用紙は、本学公式ウェブサイトからダウンロードできます。

〒814-0180 福岡市城南区七隈8丁目19-1 福岡大学 広報課 [全国高校生川柳コンクール]宛

■入選発表 平成27年12月末日までに発表(予定) 詳細については、本学公式ウェブサイト「全国高校生川柳コンクール」をご覧ください。

福岡大学 <http://www.fukuoka-u.ac.jp/>

■お問い合わせ先 福岡大学 広報課 〒814-0180 福岡市城南区七隈8丁目19-1 TEL:092-871-6631(代表)

第11回(平成27年度) 全国高校生川柳コンクール

その思い 五・七・五の文字に込め

【主催】福岡大学
【後援】文化庁、全日本川柳協会、全国高等学校文化連盟、福岡県、西日本新聞社、NHK福岡放送局

がんばろう日本!